

1. 健康経営の目的

(1) 経営方針と健康経営の目標

- ・各職場に Wellness リーダーを配置し、全社員が参加できる Wellness 活動の企画、運営、推進を行い、その活動を全社員へフィードバックします。
- ・定期健康診断、ストレスチェックの受診率 100%、特定健康保険受診率 100%を目指し、社員が必達できるようサポートします。
- ・婦人科検診の受診率向上など、女性の健康に対する取り組みを強化し JAL Wellness2025 達成に向け取り組みます。
- ・メンタルヘルスに関して産業医と連携し、結果に応じたアフターフォローを迅速に行い、また検査結果を分析し職場改善に活かします。

(2) 期待する効果と健康経営全体の目標指標

健康経営の取り組みを通じて生まれた健康で活力あふれる社員がパフォーマンスを最大限発揮できる会社を目指します。このため健康経営全体の目標を社員のパフォーマンス向上とし、アブセンティーズム、プレゼンティーズム、ワークエンゲージメントを KGI として設定しています。

2. 健康経営の取り組み

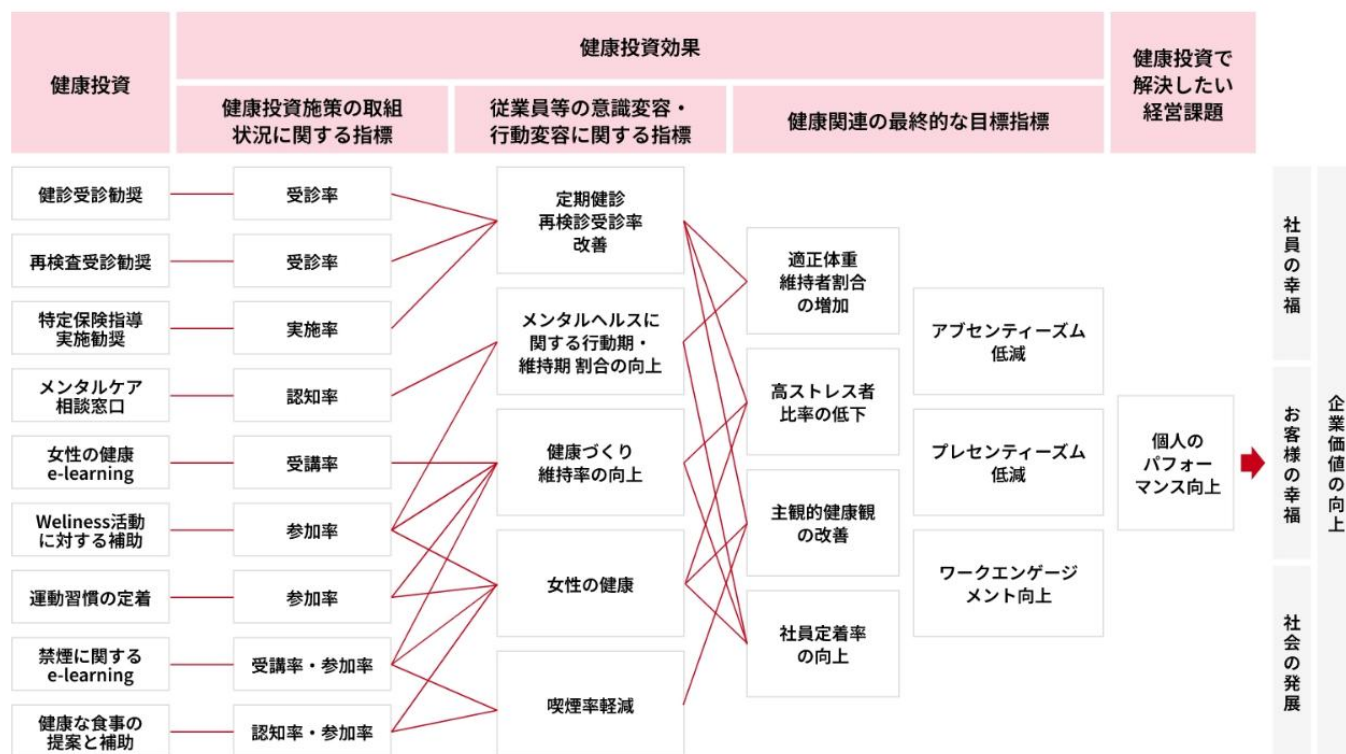
(1) 健康課題

「JAL Wellness 2025」における5つの重点項目を課題として定め、取り組んでいます。

健康問題	JAL Wellness2025 重点項目
生活習慣病	肥満率・特定健診受診率・特定保健指導実施率
がん検診	胃がん・大腸がん・乳がん・子宮がん
メンタルヘルス	高ストレス者割合
たばこ対策	喫煙率
女性の健康	乳がん・子宮がん・女性の痩せ

- ① 肥満リスク者の割合が社員全体の 7.3%と2022年度から 1.5%増加しています。
これまで40代後半の女性社員の比率が多かったものの、2024年度から 25～40 歳前半の社員の増加が見られ、生活習慣病予備軍を阻止するための食生活の改善や運動習慣をつけるなどの課題があります。
- ② がん検査受診率(4項目)が低くなっています。受診の促進に向けた環境整備が課題です。
- ③ 高ストレス者割合が目標値 5%未満に対し 13.8%と高くなっており、メンタルヘルスの向上が課題です。
- ④ 女性社員が96%を占める社内で、女性の喫煙率の目標値 3%に対し、4.1%と2024年度から 0.5%増加しています。
対象者への禁煙サポートが課題です。
- ⑤ 女性の痩せ率が目標の20%未満に対し、27.6%と2024年度から 5%回復しましたが引き続き課題となっています。

(2) 健康経営の戦略マップ



3. 2024年度健康施策

月別実施事項		
月	行事/月間強化事項	安全管理・労働衛生管理・管理体制・教育
4	新入社員入社教育 異動者対応	・新入社員・異動者・復職者向け安全教育の実施 ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・抗ウイルス・抗菌スプレー散布（オフィス・カウンター・保安検査場・機内） ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供
5	定期健康診断	・福岡空港支店社員の定期健康診断 100%実施に向けた取り組み ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・タバコのこと、もっと知ろう 2 e-learning ・みずほ PAYPAY ドーム 20 kmリレーマラソン参加
6	全社員対象安全教育 （年 2 回実施）	・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・全社員対象の安全啓発教育（受講・ディスカッション・改善提案など） ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・第 1 回 JAL Wellness リーダー全体研修会

		・第 1 回 JQS Wellness 新聞発行 ・地域小学校でのグランドゴルフ大会参加
7	熱中症対策徹底	・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・熱中症対策の実施（塩飴・経口保水液やスポーツ飲料・冷えピタなどの配備） ・社員への熱中症予防対策周知 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・海岸清掃 ゴミゼロ活動実施 1 回目 ・JAL 評価会議 ・第 2 回 JQS Wellness 新聞発行 ・福岡空港内スタッフ対抗ボーリング大会
8	夏期安全総点検実施	・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・夏期安全総点検実施へ向けた取り組み ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・生活習慣病 e-learning ・生活習慣アンケート ・JQS5 空港対抗 水を飲もうキャンペーン
9	ストレスチェック実施	・全社員向けストレスチェックの 100%実施 ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・World Cleanup Day イベント参加（JAL グループ全世界社員同時刻にゴミ拾いを実施） ・ウォーキングイベント（歩数対決）5 空港全社員対象 ・メンタルヘルスセミナー ・第 2 回 JAL Wellness リーダー全体研修会 ・第 3 回 JQS Wellness 新聞発行
10	インフルエンザ 集団予防接種の実施	・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・女性の健康セミナー ・第 4 回 JQS Wellness 新聞発行
11	特定健康診断実施	・対象社員向け特定健康診断の実施 ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動（ZOOM 同時実施） ・各部門毎（5 空港）毎週定期的な健康な食品の補助・提供

		・海岸清掃 ゴミゼロ活動実施 2回目 ・運動セミナー
12	婦人科健診実施	・福岡国際空港主催 避難器具使用訓練への参加 ・婦人科健診(乳がん・子宮がん検診)の実施 ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動 (ZOOM 同時実施) ・各部門毎(5 空港) 毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・アルコール啓発習慣 ・第 5 回 JQS Wellness 新聞発行 ・TEAM FUK 大運動会参加
1	年末年始安全総点検実施	・福岡国際空港主催 普通救命講習会への参加(AED 取り扱い) ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・年末年始安全総点検実施へ向けた取り組み (お客さま・社員・保安など自己チェック・ディスカッション・ロービングなど) ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動 (ZOOM 同時実施) ・各部門毎(5 空港) 毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・第 3 回 JAL Wellness リーダー全体研修会
2	模擬訓練実施 各種面談など	・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・事故発生時に速やかに各部門が行動可能な、担務の確認とシミュレーションの実施 ・全社員との面談実施によるメンタルヘルスケア ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動 (ZOOM 同時実施) ・各部門毎(5 空港) 毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・がんセミナー ・第 6 回 JQS Wellness 新聞発行
3	全社員対象安全教育 (年 2 回実施)	・福岡国際空港主催 普通救命講習会への参加(AED 取り扱い) ・福岡国際空港主催 消火救難隊訓練参加 ・全社員対象の安全啓発教育(受講・ディスカッション・改善提案など) ・JQS Wellness リーダーミーティング ・毎週火曜日 +10 運動 (ZOOM 同時実施) ・各部門毎(5 空港) 毎週定期的な健康な食品の補助・提供 ・第 7 回 JQS Wellness 新聞発行

4. 健康経営の取り組みによる効果

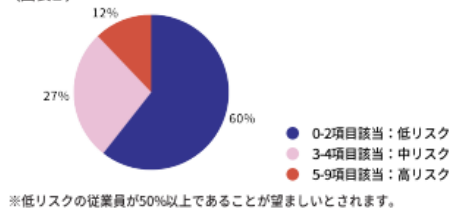
- ・健康経営の社内浸透により JAL スカイ九州 5 空港の Wellness リーダーが企画する取組み施策への参加率が向上し、生活習慣や運動習慣が少しずつ良化傾向にあります。
 - ・未病・予防の観点から特定健康診断の受診率が5.1%向上しています。
 - ・パフォーマンス指標については、プレゼンティーイズムの評価が改善しています。
- 前年度比1%の改善が見られたプレゼンティーイズムについては、東京大学の先行研究を踏まえ、以下の図の通り関連の高い9つの因子の該当率が高い「ストレス高」「喫煙習慣あり」「運動習慣なし」群に対する施策の実施によって、高リスク層、中リスク層ともに割合が低減し、プレゼンティーイズムの改善に結びついたものと考えています。

(図表1)

	健康リスクの評価項目	従業員の リスク該当率の割合
生活習慣 リスク	①喫煙習慣あり	5%
	②過度な飲酒習慣あり	13%
	③運動習慣なし	86%
	④睡眠が不十分	46%
心理的 リスク	⑤不定愁訴あり	22%
	⑥主観的健康感が悪い	10%
	⑦高ストレス	24%
	⑧仕事満足度が低い	28%
	⑨家庭満足度が低い	13%

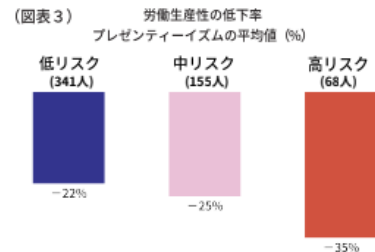
*上記は、東京大学
古井・村松・井出「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」日本労働研究雑誌
平成30年6月号と同じ手法により算出しています。

(図表2)



各リスクレベルのプレゼンティーイズムの
平均値を比較します。

(図表3)



(1) 健康経営全体の目標指標 (KGI)

目標指標	測定方法	2022年	2023年	2024年	2025年	最終目標
アブゼンティーイズム	従業員アンケートによる体調不良での年間欠勤日数	2.6日	2.8日	2.7日	3.4日	3.0日以下
プレゼンティーイズム	従業員アンケートによる過去4週間の病気やケガによる生産性低下率	26%	26%	26%	25%	20%
ワークエンゲージメント	新職業ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問(2項目)による把握	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0以上

【測定人数(2025 年度数値)】 各指標とも全社員 658 人を対象に実施。回答人数 564 人(回答率 86%)

(2) 社員の意識・行動変容に関する指標

目標指標		目標値(2027年)	実績値		
			2024年度	2023年度	2022年度
健康リテラシー	e-learning	80%以上	97.9%	81.6%	88.2%
Wellness活動	活動実施回数	100%	100.0%	100.0%	100.0%
ライフスタイル	運動習慣	63%以上	58.6%	58.0%	49.7%
	休養が取れる睡眠	80%以上	47.4%	52.2%	52.7%
	適度な食べる速度	70%以上	70.0%	67.0%	68.3%
	適度な飲酒習慣	90%以上	96.9%	94.6%	93.6%
ストレスチェック	受検率	100%	100.0%	100.0%	100%
平均勤続年数			9.1年	9.3年	9.7年

(3) 健康経営の最終的な目標値

目標指標		目標値(2027年)	実績値		
			2024年度	2023年度	2022年度
定期健康診断	受診率	100%	100.0%	100.0%	100.0%
特定保健指導	受診率	65%	83.3%	88.9%	83.3%
生活習慣病	肥満率	15%未満	7.3%	7.3%	6.3%
	特定健康受診率	75%以上	92.7%	87.6%	92.3%
がん検診	胃がん検査受診率	70%以上	43.6%	55.1%	39.6%
	大腸がん検査受診率	80%以上	64.8%	63.1%	60.4%
メンタルヘルス	高ストレス者割合	5%未満	13.8%	16.5%	13.2%
喫煙率	男性	20%未満	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	3%未満	4.1%	3.6%	5.5%
女性の健康	乳がん検査受診率	70%以上	43.6%	45.8%	49.9%
	子宮がん検査受診率	60%以上	43.7%	43.2%	50.7%
	女性の痩せ	20%未満	27.6%	32.6%	27.6%

5. 労働安全衛生

安全衛生はすべてに優先する事業運営の根幹とし、毎月安全パトロールを実施することで職場内の安全管理における環境整備と、社員の意識の醸成を図りながら改善改革に繋げています。

労働安全衛生	2024年度	2023年度	2022年度
労働災害発生件数	9件	10件	10件